

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	大洗町立第一中学校 生徒288名(全学年)，職員27名 合計315名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 1 教科名 () ② 行事名 (田山寛豪選手に学ぶ会) 3 その他 () (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 ()
4 目標 (ねらい)	茨城県のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るために、大洗町出身で本校の卒業生でもある4大会連続出場のオリンピック田山寛豪選手を招待して、オリンピックに対する思いや出場するための努力などを語っていただき、運動することの楽しさやすばらしさを生徒に感じ取らせる。
5 取組内容	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会による事前準備（内容，進行，会場 等） ○保健体育科の授業において「日本とオリンピック」を実践 <p>【実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「田山寛豪選手に学ぶ会」



	<p>【事後学習】</p> <p>○保健体育科の授業において「文化としてのスポーツ」を実践</p> <p>○第35回大洗マラソンサンビーチマイルレースへ参加</p>
6 主な成果	<p>オリンピック4期連続出場の偉業を成し遂げた田山選手の講演をとおして、スポーツのもつ「競い合い、高め合う」「認め合い、たたえ合う」「目標に向かって取り組む」すばらしさを生徒が実感することができた。さらに、事前・事後に保健体育の授業を実践したことにより、スポーツの意義を自分の生活に結び付けて考えることができた。また、本町主催の大洗マラソンサンビーチマイルレースへの参加人数を増やすことができた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>オリンピックを身近に感じ、運動のよさを実感させるために、オリンピックの選考に熟慮した。また、本町は海に面しており、トライアスロンという競技には欠かせないフィールドであることを認知することで、競技人口の少ないスポーツへの理解に努めた。</p>
8 主な課題等	<p>○ オリンピアの種目によっては、生徒が競技そのものを体験することが難しい場合もある。</p> <p>○ オリンピアは多忙なため、学校の行事に合わせる 것이難しい。特に、各種の訪問指導等の日程が確定してからでないで、オリンピックとの日程が調整できない点があり、どうしても後半に行事を設けることになってしまう。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成</p> <p>○ 大洗町においては多くのスポーツイベントを開催している。来町者も多く、「おもてなし」や「ボランティア精神」を醸成するには、適した環境といえる。そこで、大洗町生涯学習課と連携して本事業を展開し、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツを「支える」楽しさや充実感を味わわせたいと考えている。次年度は、生涯にわたってスポーツライフを継続する資質や能力の育成を柱にしていきたい。</p>